わっか

まちなかを応援する情報誌

春

2017 SPRING

WAKKA

vol.27

02. とっとりまちづくり
街なか暮らし
促進事業居住モニター

04. 鳥取市移住・交流情報ガーデン

05. まちの創造人
池本喜巳小さな写真美術館
池本 喜巳さん

06. まちの教室
創作花工房 BLOSSOM DECO
Flower & Bakery HaRu

07. タウンマネージャーのたんけんコラム
植物を育てる

08. イベント情報・イベントレポート

ご自由にお取り下さい
Take Free

街なか暮らし促進事業居住モニター

取材場所:tottoriカルマ(戎町116)・・・丸山さんが立ち上げたオープンスペース。カフェやギャラリー、花屋などの複数の事業者で運営されている。

鳥取市では、平成28年度より「街なか暮らし促進事業」として居住モニターを設置し、街なかの暮らしの体験について報告してもらい、情報発信する取り組みを始めました。

平成28年度は5名の居住モニターさんに報告していただきました。その中では、街なかの新たな発見や挑戦、心和む風景、暮らしに役に立つ場所の紹介や日々の暮らしで気づく提案など、街なかの今の様子がつづられ、改めて街なか暮らしの魅力や課題の確認ができるものとなっています。

この度は、そんなモニターさん3名に集まっていただき、お話を聞きました。

丸山(まるやま) 邦憲(くにのり)さん

渋谷(しぶや) 太樹(だいき)さん

梶谷(かじたに) 彰男(あきお)さん

―とっとりの街なか暮らしのきっかけを教えてください。

丸山:東京の中野でお店をやっていた時のスタッフがここ(tottoriカルマ)の前の店(カルン)をやっていて、そのつながりで4年ほど前に初めて鳥取を訪れました。「とっとり」っていい感じだなぁというのが第一印象です。それから何度か訪れるうちに何かしてみたいと思うようになり、物件が見つかったのを機に引っ越しました。今は中野との二拠点居住をしています。

渋谷:もともと丸山さんのお店のスタッフでした。そのときに「とっとりはいい!」と聞いていたので、訪れてみました。カルンの店主とも知り合いで、この周辺の店主を紹介してもらううちに自分にも居場所がありそうだなと感じ、家族で引っ越すことにしました。

梶谷:進学で東京に出ていましたが、8年前に鳥取に戻り就職しました。実家は中心市街地外にありますが、一人暮らしをしたいと思っていたところ、鳥取市主催のリノベーションスクール@鳥取などに関わる中で、元雀荘をリノベーションした賃貸住宅「ミドリビ」(わっかvol.23で紹介)を紹介してもらい、街なか暮らしをスタートさせました。

―モニタリングを行ってみていかがでしたか?

丸山:以前から色々な機会を見つけては、鳥取の街の気になるところを話してきました。モニターになってこれまでより細部にわたり街なかの色々な部分に目を向けるようになり、改めてどうすればいいか提案を考えるようになりました。

渋谷:はじめのころ、誰に向かって語りかけるものとしようか悩みました。その中で自分のように鳥取に移住したいと気になっている人たちに向かって書こうと決め、生活している中でふと感じたこと、何気ない暮らしの一面、ガイドブックには載っていない暮らしの情報を発信するように心がけました。

モニタリングを進めていくうちに感じたことは、中心市街地だけではない動きも暮らしの一つであるということです。中心市街地外に車で出かけたことなども併せて発信していくことも必要だなと思いました。例えば子育て世代などは移動することがとても大変なので、その立場に立ってどのような情報が必要かを考えました。

梶谷:これまで何かを発信することは少なかったので、意識してイベントに参加しました。またモニタリングを進めていくうちに、なるべく住んでいる町内の情報を発信したいと思いながら暮らすようになりました。

―一番お気に入りの報告はなんですか?

丸山:1月の報告です。アーケードに音楽が流れている。これってホッとする。その音楽について、街なかのテーマソングみたいなのを作って流したらいいなぁという内容の記事です。

また、街なかで放送局を設置してそこから街の色々な情報を発信したりできたらいいなと感じています。

渋谷:8月の報告です。住まいが駅の北側なのもあって、駅の南側はなかなか行かないのですが、たまに行くと気になる木陰の空間があります。昼間にそこでビールを飲んでいる方がいたり、おしゃべりしたり、それぞれに時間を過ごしているという感じがとても街に溶け込んでいていいなと感じました。

梶谷:12月の報告です。大家さんに誘われて参加した「年末夜警」の話は、他の町内で夜警をされた方などからも反響があって嬉しかったです。

▲年末夜警の様子

▲駅南の木陰空間

―これからやってみたいことは?

丸山:これからもオープンな場所をつくり、みんなに使ってもらうことを続けていきたいです。そして、ここを一緒にやってくれている個人事業者さんたちとつながりながら、県外へも飛び出していけたらよいと思います。

渋谷:ゲストハウスのスタッフとして、まだまだ街なかの情報収集が足りてないなと感じてます。日中だけでなく夜の街の情報も集めていきたいな。地元の人がおすすめする夜のスポットに行ってみたいです。

梶谷:書いて伝えることについてもっと極めていきたい、続けていきたいです。そして、街なか暮らしを楽しみながら街なかで何かしたい方に場を提供するなどまちづくりのお役に立てる活動をしていきたいです。

お知らせ

『平成29年度居住モニターを募集します』

平成29年度居住モニターを募集します。詳細については、4月初旬ごろ鳥取市公式ウェブサイトにてお知らせします。
また、これまでの報告も公開中です。
「鳥取市居住モニター報告」で検索してください!

◎お問い合わせ先: **鳥取市都市整備部中心市街地整備課**
鳥取市尚徳町116鳥取市役所本庁舎2階
TEL:0857-20-3276　FAX:0857-20-3048
E-mail:shigaichiseibi@city.tottori.lg.jp

住まいの総合相談窓口

お気軽にご相談ください!

住まいの総合相談窓口 住もっ鳥取ネット

住まいに関する様々な相談、空き家情報バンクご利用について、中心市街地区域限定の支援制度の紹介など幅広く対応させていただきます!

鳥取市川端2丁目125鳥取不動産会館1階
TEL:0857-24-0550　FAX:0857-26-5799

とっとりまちづくり

鳥取市移住・交流情報ガーデン

鳥取市が考えていること、取り組んでいること等を紹介します！

平成28年1月10日に中心市街地にオープンした「鳥取市移住・交流情報ガーデン」が一周年を迎えました。

これまで多くの移住希望者の方々にご利用いただいております。

こちらの施設は、移住者のためだけの施設ではありません。施設の奥には交流スペースが設置してあり、相談会や催しの他に移住者や地域の方との情報交換、交流の場としてもお使いいただけます！

交流スペース

会議や教室、集まりなどにご利用いただけます。
（無料・要予約・開館日の10時から21時）
空いているときは、自由に休んだり、本を読んだりしていただけます。コンシェルジュにひと声おかけください。

交流スペースを活用したイベントの様子

▲アートフラワー教室

▲ビブリオバトル

▲移住者交流会

フリーネット検索スペース

移住関係の雑誌も読めます

移住情報・鳥取情報の検索にご利用いただけます。
また、チラシを置きたい、作品を紹介したい、活動紹介したい、仲間を募りたいなどの情報発信の場としてもご利用いただけます。

移住定住コンシェルジュ
高木（たかぎ）章子（あきこ）さん

―今後、ガーデンをどのような場へ

まず一年目は、移住に関する相談にしっかり対応できるオープンな場、安心して訪れることの出来る場となるよう心掛けてきました。

今後は、住民のみなさんや各団体と連携しながら、各地域の様々な情報をこのガーデンに集約し、ここに来れば鳥取市の各地域の特色、暮らしの様子などを知ることができる施設にしていきたいと考えています。

そして、住民のみなさんとこれから移住してこられる方々の交流が生まれる場としていきたいです。

そのためにも市民のみなさまにぜひお気軽にご利用いただければ幸いです。

鳥取市移住・交流情報ガーデン　「鳥取市移住・交流情報ガーデン」で検索！
鳥取市永楽温泉町109（P7表記）　TEL.0857-30-6631　FAX.0857-30-6662　WEB.http://www.tottori-iju-garden.jp

まちの創造人

中心市街地で新たな活動に取り組むヒトを紹介します♪

池本（いけもと）喜巳（よしみ）さん

池本喜巳小さな写真美術館

昨年4月23日に「池本喜巳小さな写真美術館」を開館され、東川町国際写真フェスティバルでの受賞や平成28年度鳥取県文化功労賞知事表彰も受賞された池本喜巳さんに、美術館への思いなどについてお話を聞きました。

―なぜこのような美術館をつくられたのですか。

まず一つに　私は、約50年にわたり、山陰にレンズを向けてきました。これらの膨大な鳥取の記憶を整理し分類して、後世に伝えたいと思ったからです。そして山陰に生まれ、地元にこだわった世界的な写真家「植田正治」、「塩谷定好」に直接会って話を聞いている私が、彼らの生の言葉を語り継ぐ必要があるとも考えています。

二つめには、「本物の文化ってなんだろう」と語り合える拠点が必要だと考えていたからです。文化って、「まちのにおい・雰囲気」のようなもので、それを感じながら鳥取のことを真面目に考える若者を育てたいと思っています。

―どのような作品を観ることができますか。

これまで撮り続けている山陰の様々な記憶をシリーズごとに整理し、不定期に入れ替えながら展示をしています。

例えば、山陰の商店の日常を切り取った『近世店屋考』や人の内にある山陰の風土をとらえた『そでふれあうも』などは山陰を撮り始めたころから続いている作品です。

現在は、現代アート的な作品を展示しています。これは、以前東京表参道にあった森英恵ファッション文化財団のオープンギャラリーで発表したものです。

―作品展示のほかにも活動されていると聞きました。

展示以外にも写真やアートに触れる機会を設けたいと思い、様々なテーマのセミナーやワークショップなどを開催しています。毎月第４金曜日（３月24日、４月28日と続いていきます。）には、当日の参加者の顔を見て、その場に合ったテーマでお話をする「写真家のたわごと」を開催しています。時間は18時から20時頃まで。

―今後はどのような企画が予定されていますか。

４月15日～６月４日開催の鳥取県立博物館の「バーナード・リーチ」展にあわせて、民藝美術館とも連携した吉田璋也関連の作品展を予定しています。

また、岡山の若い写真家の展覧会なども企画中ですのでお楽しみにしていてください。

▲セミナーの様子

▲ワークショップの様子

鳥取市吉方温泉1丁目655（P7表記）
TEL.0857-23-5639
開館時間：AM10：00～PM5：00
開館日：土・日・月・祝日　入館料：500円
「池本喜巳小さな写真美術館」で検索！

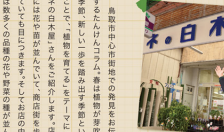
まちの教室

2014年4月に、チャレンジショップからオープンした創作花工房ブロッサム。デコで店内には切り花の他にも、多肉植物やサボテン、ちょっとアブナイ？な観葉植物など個性的な植物が並びます。お店を切り盛りされているのは、「手づくり教室を店の一角で開催されたい」というライフスタイルデザイナーの井口恭さん。

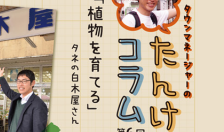
ブロッサムデコでは、5～8月は「コクテル」、秋冬は「リース＆スワッグと季節に合わせた手づくり教室を店の一角で開催されたいます。お一人から60代で自分の都合のよい時間に予約を入れる形式ですので、とても入りやすいお店です。そして、今年の春から変化がけは、「ボタニカル装飾 for テーブルコーディネート」教室も計画中。インテリアとしても使えたり、気軽にできるおすすめの教室です。

「素情熱的にかおもしろい植物がたくさんあることを知ってもらえると嬉しいです。ね、自分で触って手づくりすると愛着もわくし、楽しめる寄合いも深くなりますよ。」と井口さん。

教室は、お子さんも赤ちゃん連れも大歓迎だそうです。2歳半の娘さんの為の遊べるスペースもある井口さん。「子どもさんの成長も楽しみです。」と笑顔で話してくれました。



創作花工房 BLOSSOM DECO



教室内容案内

- ◆涼を感じるさけ玉づくり教室（6・7・8月）
- ◆フレッシュグリーンのリース&スワッグづくり教室（11月中旬～12月上旬）
- ◆おしゃれ盆栽づくり教室（時期未定）

※各教室の詳細や開催日時・料金はお問い合わせください。

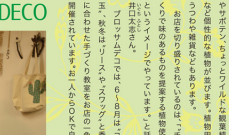
住所：〒680-0831 鳥取市栄町655 民藝館通り
TEL：070-5306-6414　定休日：不定休
開園時間：月～土／10:00～19:00　日／10:00～18:00
WEB：http://blodeco.com　「ブロッサム・デコ」で検索！

Flower & Bakery HaRu

フラワー＆ベーカリー ハルは、お花屋さんとパン屋さんが一緒にたのずしいお店です。店内には小さなパン教室スペースも。

「ぎれいでおいしい たのしい」をコンセプトに、兄弟姉妹子さんとスタッフの水口めぐみさんが花を扱い、ご主人の兄弟姉妹さんがお菓子作りを担当しています。お店は、優しくてあたたかい雰囲気が漂っています。

ハルでは、フラワーアレンジメントとブリザーブドフラワーレッスンが行われています。初心者さんから資格取得に向けた方のまでコースを選ぶことができます。



教室内容案内

- ◆フラワーレッスン　毎月1回1.5時間×6回（基礎・中級・資格コース）
- ◆ブリザーブドフラワーレッスン　毎月1回2時間×6回（基礎・中級・プロコース）
- ◆シーズンフラワーキッズクラス（小学生以上）毎月1回1時間×6回

わっかを見られたお客様は6月末まで入会金半額！

※お申し込みの翌月からレッスンを受けられます。開催日時・料金はお問い合わせください。

住所：〒680-0845 鳥取市富安2丁目151-1第3ガーデンハイツ101
TEL：0857-39-7166　定休日：第2月曜日　駐車場：2台あり
開園時間：平日／9:00～18:00　日・祝祭日／10:00～18:00
WEB：http://www.haru-wedding.com　「鳥取フラワー工房HaRu」で検索！

たんけんコラム 第6回

「植物を育てる」タネの白木屋さん

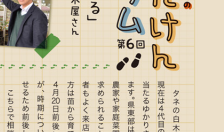
鳥取市中心街地域の発見をお伝えするたんけんコラム。春は植物が芽吹く季節。新しい一歩を踏み出す季節ということで、植物を育てる「をテーマにタネの白木屋さんをご紹介します。先には花や苗が並んでいて、商店街を歩いていても目につきます。そして、お店の中には数々の品種の花や野菜の種があります。トマトひとつでも何種もあり、専門店ならではの品ぞろえが魅力です。

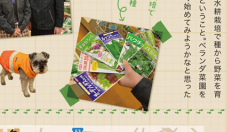
タネの白木屋さんは明治12年創業。現在は6代目の白木亮介さんら6日に当たるかがいさんがお店を守ってられます。「個家個性豊かな農家さんや、農業や花屋園の方が「重要多品種で買い求められることが多く、個人からの移住者もよく来店されるそうです。初めての方は苗から育てる方がよりやすく、毎年4月20日前後には品種に品質が並びますので、時期についてはその年の気候にお合わせるため前後しますとのこと。

こちらで相談されてもらったら、「娘というよりお水耕栽培で種から野菜を育ててみたい」ということでベランダ菜園を楽しそうに始めてみようかなと思ったところでした。春先の植物に適した野菜を購入が難しいのですが、「手軽な品種」や「育てやすい」などと季節知識の無いお客様の要望にも丁寧に答えてくださいました。現在、種から出た小さな芽を親子で楽しく見守っています。

まちを歩く中でふらりと立ち寄ってみて、植物を育てることを始めるきっかけにはいかがでしょうか。

文／タウンマネージャー　成澤仁士





わっか 春
2017 SPRING
WAKKA
vol.27

「鳥取市中心市街地活性化協議会」で検索！

平成29年4月～6月 中心市街地イベントスケジュール

※イベント内容等は変更となることがありますので、ご了承ください。

期間	イベント名	会場	主催者
4/8(土)・9(日)	第28回ふるさと鳥取桜まつり	きなんせ広場、袋川桜土手周辺	ふるさと鳥取桜まつり実行委員会
4/23(日) ♬	フォークレボリューション ライブ	パレットとっとり市民交流ホール	鳥取音楽座 フォークレボリューション実行委員会
4/23(日)・5/28(日)・6/25(日)	いなばのお袋市（毎月第4日曜）	駅前サンロード	新鳥取駅前地区商店街振興組合
4/29(土祝)	第40回花のまつり	本通り・若桜街道 歩行者天国	鳥取市花と木のまつり実行委員会
4/29(土祝)	川端まちなかウェディング＆川端賑わい日	川端通り	川一アーケード管理組合 川端界隈活性化協議会
4/29(土祝)	若桜往来マルシェ	若桜街道日交タクシー乗り場	若桜街道商店街振興組合
4/29(土祝)	バード・ハット子ども広場	駅前太平線バード・ハット	新鳥取駅前地区商店街振興組合
4/29(土祝)～30(日) 5/3(水祝)～7(日)	とっとりえきなかえきまえGWフェスタ ～謎解きクイズラリー～	鳥取駅周辺 ※えきなかイベントは4/29・5/3	JR鳥取鉄道部、鳥取大丸、 JR西日本山陰開発
4/30(日) ♬	ハッピーウクレレ倶楽部 鳥取・姫路ウクレレ交流会	パレットとっとり市民交流ホール	ハッピーウクレレ倶楽部
5/28(日)	いのちみつめて講演会	パレットとっとり市民交流ホール	いのちみつめて
6/18(日)	世界ALSデーイベント	駅前太平線バード・ハット	日本ALS協会鳥取県支部
6/21(水)	YOGA MUDRA 鳥取 2017	パレットとっとり市民交流ホール	YOGA studio in moco OM YOGA studio yuju 中田 彩
6/25(日) ♬	ハッピーウクレレ倶楽部 ウクレレ発表会	パレットとっとり市民交流ホール	ハッピーウクレレ倶楽部

イベントレポート

2016年1月10日（「移住」の語呂合わせ）にオープンした鳥取市移住・交流情報ガーデンが一周年を迎え、記念イベント「ガーデンギャラリー 蒼の時間」が開催されました。鳥取市に移住して活躍中の若手アーティストの共演が企画され、小村恵さん（ピアノ）とお弟子さん（クラリネット）のデュオによるオープニングコンサート、森和之さん（陶芸家）と藤田美希子さん（画家）のギャラリー展示を堪能する素敵なひとときとなりました。合わせて移住者交流会も催され、近況報告や鳥取市に感じる魅力などの話題で終始和やかな雰囲気でした。

「移住された方は地域の魅力を再発見する目を持っています」と高木さん（移住・定住コンシェルジュ・リーダー）。地元の方の「当たり前」が、外の目で見ると「鳥取らしい特別なこと」に映ることが多くあります。鳥取市移住・交流情報ガーデンではそのような発見が日ごろから楽しく情報交換されているようなので、地元の方も是非立ち寄ってみてください。高木さんには今後、この「わっか」でも移住者が発見した鳥取市の魅力を紹介して頂こうと思います。

高木さん▶

「わっか」へのご意見・ご感想をお寄せください！

わっかをご覧になっての感想やこんなことを取り上げてほしいといったご意見などを募集します。抽選で5名様に「お菓子セット」をプレゼントします！

【応募方法】郵便または電子メールで、❶住所、❷氏名、❸電話番号、❹年齢、❺わっかへのご意見・ご感想を明記の上、下記までお送りください。当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

【応募締切】平成29年5月31日（水）必着

「わっか」設置の提携店を募集！

中心市街地エリア情報誌「わっか」の設置にご協力いただける店舗等を募集します！年4回の発行時にお店の一角にわっかを置いていただけると、わっか誌面にて提携店名のご紹介をいたします。

【わっか設置提携店】（平成29年4月現在） こむ・わかさ、五臓圓ビル、鳥取大丸、BookCafeホンパコ、Y Pub&Hostel TOTTORI、絹の舘サービス呉服店、鳥取画材、鳥取市移住・交流情報ガーデン、ギャラリーそら、tottoriカルマ

【応募先&お問い合わせ】鳥取市中心市街地活性化協議会 TEL：0857-39-0777 Mail：info@tottori-machinaka.com
〒680-0832 鳥取県鳥取市弥生町323-1パレットとっとり2F市民交流ホール内 鳥取市中心市街地活性化協議会 宛

わっか編集部より

私もこの春で鳥取歴2年になります。今年の冬は記録的な大雪でしたが、子どもたちは毎日の雪遊びに大喜び。食で言えば親ガニ。スーパーで生きたカニを選ぶのも日常のちょっとしたイベントでした。私が育った岡山よりも、鳥取では季節をはっきり感じます。雪解けに春の気配を感じながらの編集作業でしたが、袋川土手や鳥取城跡の桜が今から楽しみです。（成清）

わらべ夢広場で雪遊びを楽しむ子どもたち▶

表紙写真：街なか暮らし促進事業居住モニターのみなさん（左から、丸山邦憲さん、渋谷太樹さん、渋谷千里さん、梶谷彰男さん）

■発行／鳥取市中心市街地活性化協議会『まちなかシェルジュ』 鳥取市弥生町323-1 パレットとっとり2F市民交流ホール内 TEL 0857-39-0777 FAX 0857-39-1222 e-mail：info@tottori-machinaka.com／鳥取市都市整備部中心市街地整備課 鳥取市尚徳町116 TEL 0857-20-3278 FAX 0857-20-3048 e-mail：shigaichiseibi@city.tottori.lg.jp ■協力／鳥取市商店街振興組合連合会
※この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。